

高度部材の共同開発探る

知事 事
独訪問 NRW州政府関係者と面談



NRW州政府関係者と面談する野呂知事（左から2人目）、田中四日市市長（左端）ら＝県提供

野呂昭彦知事や田中俊行四日市市長らは、ドイツ滞在三日目の十三日、ドイツのノルトライン・ヴェストファールン（NRW）州政府を訪問し、州経済・エネルギー省のイエンス・バガッツ次官と面談した。

野呂知事がバガッツ次官と面談するのは、平成十九年十一月の訪問以来、三度目。面談では、連携を進める具体的なテーマとして、

四日市市塩浜町の高度部材イノベーションセンター（AMIC）とNRW州内の研究機関の技術交流を通じた新しい部材の共同開発の可能性などについて意見を交わした。

この中で、田中市長は「環境分野での交流も可能では」と提案。バガッツ次官は、「州政府としても関心の高い分野。今後双方で協議を進めていきたい」と応じた。